

2022 年度産学官連携シンポジウム

「木材利用の観点から中高層木造を考える」

<趣旨> 2010 年の公共建築物等木材利用促進法の施行以降、日本でも中大規模木造の建築事例が年々増加しており、国産材の自給率も 40%を超えるまでに上昇してきました。世界的な地球温暖化対策の強化、脱炭素社会構築の流れが加速する中で、木造建築が社会に果たす役割も徐々に変化してきています。本シンポジウムでは、欧米が先行している感もある中高層木造建築物に着目し、木材利用の観点から我が国ならではの材料・技術を活かした「中高層木造の未来」を、行政・産業界・アカデミアが一堂に会し、考える場としたいと思います。

日本木材学会は、2022 年度科学研究費補助金・国際情報発信費に採択され、第 1 回国際ミニシンポジウム「木材科学と輝かしい未来に向けて」を 2022 年 11 月 25 日に開催しました。本産学官連携シンポジウムは国際ミニシンポジウムと並行して、これから 5 年間、様々なテーマの下、企画開催を行うことにしています。本学会の会員はもとより、本シンポジウムのテーマに興味のある多くの皆様方のご参加をお待ちしております。

主 催 日本木材学会

協 賛 林野庁、日本森林学会、日本木材加工技術協会、日本木材保存協会、木材利用システム研究会・・・(予定)

日 時 2023 年 2 月 27 日(月) 12:50~17:25

会 場 対面とオンラインのハイブリッド開催を予定(ZOOM にて配信)／東京大学農学部中島ホール

プログラム

<12:50-13:00> 日本木材学会会長挨拶 (名古屋大学) 土川 覚

座長:(東京大学) 恒次 祐子

<13:00-13:40> 都市等における「第2の森林(もり)づくり」に向けた取組について (林野庁) 斎藤 健一

<13:40-14:20> 脱炭素化に貢献する森林・木材・建築にわたる研究開発と事業展開 (住友林業) 中嶋 一郎

<14:20-15:00> 森林資源にまつわるライフサイクル思考 (東京大学) 菊池 康紀

<15:00-15:20> 休憩

座長:(東京大学) 青木 謙治

<15:20-16:00> 中高層木造の市場をつくる「技術革新でゲーム・チェンジ」 (シェルター) 安達 広幸

<16:00-16:40> 中大規木造建築物の耐久性と木材利用 (宇都宮大学) 中島 史郎

<16:40-17:20> 中高層木造の設計に必要な木材の特性 (京都大学) 五十田 博

<17:20-17:25> 実行委員長挨拶 (東京大学) 岩田 忠久

参加要領

1) 定員 25 名(中島ホール対面可能人数)+オンライン

2) 参加費 ①日本木材学会 会員:4,000 円

②日本木材学会 非会員:8,000 円

③学生:無料(木材学会の会員・非会員に関わらず)

講演要旨集(pdf 版、一部、講演スライド)代を含む

3) 申込方法 日本木材学会ホームページ(<http://www.jwrs.org/>)からお申込みください。

参加費は、2 月 22 日(水)までに、お振込みをお願いいたします。

4) 振込先 銀行振込 <三菱 UFJ 銀行 本郷支店 普通 49638

口座名義 一般社団法人日本木材学会(シヤ)ニホンモクザイガツカイ)>

5)その他 演題・講演者は予告なく変更になる場合がございます。予めご了承下さい。

問 合 先 〒113-0023 東京都文京区向丘 1-1-17 タカサキヤビル 4F

一般社団法人 日本木材学会 産学官連携シンポジウム係

E-mail: office[at]jwrs.org ([at]を@に変えて下さい)